

様式

技術名称	ネットバッファ工法(ケーソン目地透過波低減法)	技術の分類	施工	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無	
会社名等	前田工織(株)名古屋支店	担当者	村田富彦	連絡先	052-971-8020	
技術の概要	『ネットバッファ工法』は、吸出し、陥没リスクの抑制に向けて、ケーソン目地部にネット製の緩衝材を活用した透過波力低減法です。ケーソン間目地部に緩衝材を所定の設置方法で挿入し、目地透過波を減衰させることによって防砂板の長寿命化を図る。			対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)	
				添付資料	パンフの有無	有
					その他の資料	発表論文・協会資料 等
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ケーソン背後の補修:水位以下の部分は困難ですが、目地からのケーソン高さ全体を対象とした施工が可能です。</li> <li>○隙間の変化に追従可能:緩衝材はネットの集合体なので、現場形状適応性に優れておりケーソンが動いても追従ができます。</li> <li>○防砂板の延命化</li> <li>○大規模修復が不要</li> <li>○簡単施工</li> <li>○素材の安定性</li> </ul>			その他	『ネットバッファ工法』は国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と前田工織(株)で共同開発された工法で第3回インフラメンテナンス大賞を受賞いたしました。	

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。